

筑波大学周辺における床屋の分布と学割の関係について調査

曾 宇霆(地球科学専攻)

した重要な販売戦略である。

- 1. 目的:**床屋とは、男性向けに髪を整えるのが主な仕事である。つくば市における人口密度の一番高い地域である筑波大学周辺に多く立地する床屋に着目する。その分布と学割の関係性を明らかにする。
- 2. 対象地域:**対象地域は筑波大学の中心部を含む、図1の範囲である。この範囲には、つくばセンターの北側地域、平塚通り沿い地域を含めるものとする。
- 3. 研究手法:**GPS 端末を利用して、調査エリアに各床屋のポイントデータを取得する。その際、これらの店の店員に聞き取り調査をする。利用条件については、サービス種類と営業時間を記録する。各床屋の料金及び割引の条件も詳しく記録する。最後に、取得したデータを ArcGIS に取り込み、各床屋からキャンパスまでの距離と学割サービスの関係を考察する。
- 4. 結果・考察:**図1に示すように、調査で見つかった対象地域内の床屋は 23 軒である。その中で約4割が大学生に対する学割サービスがあった。分布の特徴として、平砂宿舎と追越宿舎の周辺で床屋の数量が多いと見られる。すべての店舗で学割サービスが設けられていた。また、平塚通りで 1 点だけ学割サービスを行う店舗を見つけられた。

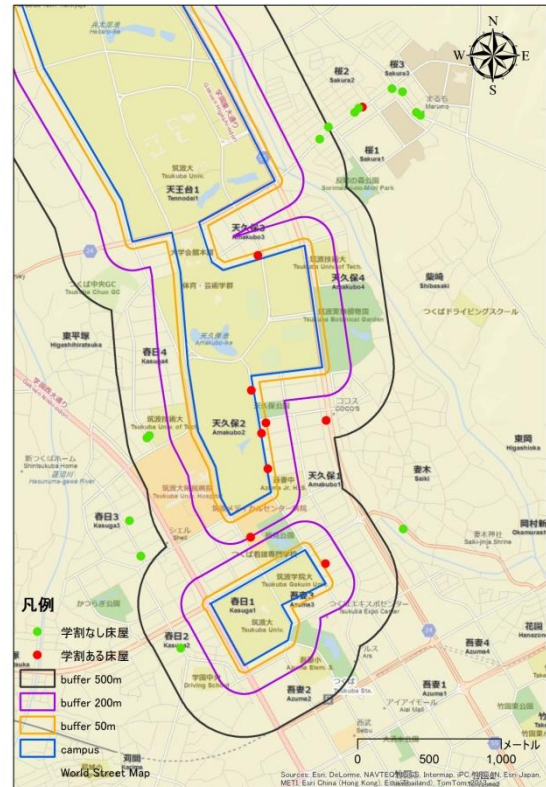


図 1.筑波大学周辺で床屋の分布図

表 1.キャンパスに距離による統計結果

	50m	50-200m	200-500m	>500m
ある	5	2	1	1
なし	0	0	5	9
総計	5	2	6	10

次に、ArcGIS でバッファ統計を行った。キャンパスから 50m の範囲の中では、すべての床屋に学割サービスが設けられており、軒数は5軒である。50m～200m の範囲で分析した結果は2軒であり、やはり学割サービスを行っていた。

しかし、200m～500m の範囲では学割サービスを行っている床屋は6軒中1軒という結果となった。さらに 500m 以上となると 10 軒中 1 軒と激減した(表 1)。

結論:キャンパスからの距離が 200m 以内の床屋では、大学生をターゲットとした学割サービスを設けている。これはニーズを考慮